

平成24年度事業計画

事業年度 平成24年4月1日～平成25年3月31日

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業

4,110千円

コンベンション誘致には、地元学協会事務局およびキーパーソンの開催意思表示が大きな要素となることから、幅広い情報収集に努め、地元関係者に対し積極的なセールス活動を行う。また、首都圏を中心とした本部事務局等を定期的に訪問し、平成25年度からスタートする「コンベンション開催助成金制度」やコンベンション施設、観光情報など、秋田の魅力を売り込むことでコンベンション誘致の実績向上につなげる。

(1) コンベンションの誘致セールス

822千円

コンベンション開催意向調査および国際ミーティングエキスポ（IME）、七都市情報交換会等で得た情報をもとに、秋田で開催する可能性があるコンベンションをリストアップしながら、地元関係者や本部事務局を訪問し、秋田市での開催を働きかける。

- ・地元セールス・・・随時
- ・首都圏セールス・・・年10回程度（目標70件～80件）

(2) コンベンション・キーパーソンの招聘

548千円

秋田開催の可能性があるまたは開催を検討中のコンベンション主催者を秋田市へ招聘し、会場をはじめとする現地視察やアフターコンベンションの体験など、秋田の魅力を実際に知っていただくことで誘致に結びつける。

- ・年間5件程度（招聘人員により調整あり）

(3) 国際ミーティング・エキスポ（IME）への出展

1,000千円

国内最大のコンベンショントレードショーであり、コンベンション主催者・関係諸団体が多く訪れる「第22回国際ミーティング・エキスポ」へ出展し、平成25年度交付予定の助成金制度を始め、秋田市の魅力をPRすることで誘致に結びつける。

- ・主催：観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コンgres・コンベンション・ビューロー（JCCB）
- ・開催日：平成24年12月中旬 東京国際フォーラム 展示ホール

※平成23年実績：出展事業所90団体 来場者：1,716名

(4) 各種セールスツールの製作・配付

1, 740千円

平成25年度より制度を開始する「コンベンション開催助成金制度」を中心に、コンベンションの支援メニューや特産品の紹介などを掲載したパンフレットや、開催規模に合った施設を提案するための「コンベンション施設ガイド」を作成するほか、数年後のコンベンション開催日の計画が立てられる「6年カレンダー」や、PR用のノベルティを製作し、セールス活動に活用する。

- ・誘致セールス用パンフレット 3, 000枚作製
- ・施設ガイド 150部作製
- ・6年カレンダー 2, 500枚作製
- ・ノベルティグッズ 2種類程度作製

2 情報収集事業

1, 670千円

(1) JNTO (日本政府観光局)・JCCB (日本コンヴェンションビューロー) の活用

417千円

JNTO・・・海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議/誘致・支援及びその他の情報提供している。

JCCB・・・日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

JNTO が発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。また、JCCB に参画し、年2回開催されるコンベンションビューロー部会やコンベンション開催意向調査データを活用し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる有益な情報収集を図る。

- ・第1回コンベンションビューロー部会 :平成24年 5月 (郡山市)
- ・第2回コンベンションビューロー部会 :平成24年10月 (富士市)
- ・コンベンション開催意向調査データ 約4, 000件

(2) 東北地区コンベンション推進協議会への参画

411千円

新潟、長岡を含む東北地区のコンベンション推進団体が、地区特有の共通課題に取り組み、コンベンション誘致や情報収集を目的としている協議会へ参画する。

東日本大震災による東北地区でのコンベンション開催件数の減少は、東北全体の問題と捉え、今年度は加盟都市12市が一丸となってコンベンションを東北へ誘致するための「東北合同誘致プレゼンテーション」を開催する。

- ・東北地区コンベンション情報懇談会 :平成24年5月10日 (東京都)
- ・定例総会 :平成24年10月 (盛岡市)
- ・実務職員研修会 :平成25年 2月 (鶴岡市)

(3) 7都市情報懇談会への参画

620千円

全国規模のコンベンションは、全国を各ブロックに分けて持ち回り開催することが多いことから、加盟7都市において、開催済みまたは開催予定のコンベンション主催者を招待し、名刺交換会や各都市のプレゼンテーションにより、効率的に情報収集し誘致活動に役立てる。

- ・懇談会開催日 : 平成25年1月23日(水) 東京都
 - ・招待者 : 各都市3団体以上×7都市(過去5年以内招待者除く)
 - ・担当者会議 : 年5回(5月、10月、12月、1月、2月)
- ※加盟都市(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松江、鹿児島)

(4) コンベンション開催情報の調査

117千円

秋田県内で開催される、各種大会の実施予定を調査し「コンベンションカレンダー」として情報提供するとともに、ホームページにより広く情報提供する。また、賛助会員には、より詳細な情報提供をすることにより差別化を図っている。

○平成24年度秋田市開催予定件数

大会規模	件数	大会規模	件数
国際大会	1	東北・北海道大会	9
全国大会	34	東北大会	46
東日本大会	4		
		合計	94

※平成23年度アンケート依頼件数 806件 うち 回答367件 回答率 45.5%

(5) 経済波及効果の測定

105千円

地域経済の活性化につながるコンベンションの有効性について、コンベンション主催者・参加者へのアンケートによるデータ収集と、それに基づいたコンベンション開催による経済波及効果等を定量的に測定し、調査結果をフィードバックすることにより、コンベンションの必要性の浸透を図る。

平成23年度コンベンション開催による経済波及効果(速報値)

約83億6600万円

県外参加者一人あたりの経済効果

- ・直接的経済効果 66,363円
- ・間接的経済効果 126,327円
- ・経済効果 192,690円

平成23年度参加総数(東北規模以上) 43,418名

平成23年度経済効果額 8,366,214,420円

※JCCB発行の経済波及効果測定ハンドブックにより集計

3 支援事業

1, 967千円

主催者がコンベンションを円滑に開催できるよう、主催者および参加者の立場に立った各種支援を行うほか、コンベンション参加者の中には複数の学協会に所属しているキーパーソンが多く「他の大会を秋田で開催したい」と感じるような支援体制の充実を図る。

(1) 支援ツールの製作・提供

556千円

歓迎ムードの醸成を目的とした歓迎ポスターを製作し賛助会員の飲食店やお土産店舗へ配布する。また、アフターコンベンションに活用していただくため、観光ガイドブック等を提供する。

- ・歓迎ポスター支援予定数 10件(7件) ()内は前年度の数値
- ・観光ガイドブック配付予定数 100大会(80大会)
- ・コンベンションバック販売 9,000部(8,900部)

(2) 歓迎ムードの醸成

1,149千円

コンベンション参加者を歓迎するために実施する竿燈実演やなまはげなどのアトラクションにかかる経費の一部を助成するほか、あきた観光レディーを無料派遣し、秋田ならではの歓迎ムード醸成を図る。

- ・助成対象：全国大会500名以上、東北大会1,000名以上
- ・助成内容：アトラクション開催費助成
(金額：出演料の1/2かつ上限50,000円) ※23年度実績：3件
- ・あきた観光レディーの無料派遣人数：1件につき2名まで無料派遣
※23年度実績：1件

(3) 「あきたコンベンション応援団」の活用

262千円

コンベンションを円滑に開催させるため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、主催者をサポートする。(現在：登録団員35名)

- ・派遣条件 全国大会800名以上、東北大会1,000名以上
- ・派遣人数 延べ10名まで(超える要請には1名につき3,000円徴収)
- ・登録者数 男性3名、女性32名
- ・派遣実績 8件 延べ94名(平成23年度)

Ⅱ 観 光 事 業

1 観光客誘致事業

18,719千円

東北を一つの博覧会場として見立てた、国の誘客事業である「東北観光博」が3月18日にスタートし、また「デスティネーションキャンペーン(以下DC)」を次年度に控え、秋田県観光キャンペーン実行委員会を中心に「プレDC」として様々な取り組みが予定されていることから、本年度は様々な団体と積極的に連携を取り、効果的な誘客活動を展開する。また、既存のイベントを始め、将来的に定着するような着地型メニューを企画、開発し、観光客の増加を目指す。

(1) 県外への観光PR

1,336千円

東日本大震災の影響による観光客の減少に歯止めをかけるため、盛岡市で開催される「東北六魂祭」や秋田県観光キャンペーン実行委員会による首都圏でのプレDC誘客イベントなどへ、あきた観光レディーおよび職員を積極的に派遣し観光客数の増加を目指す。

また、ホームページにおいて、迅速な情報更新とお知らせコーナーによるタイムリーな情報提供に努める。

※東北六魂祭 期日：平成24年5月26日(土)～27日(日)

会場：盛岡市内

※他団体との連携強化

(2) あきた観光レディーの活用

2,217千円

あきた観光レディー5名を活用し、各種イベントへ参加・派遣するほか、県内外で秋田の観光PRに務めるとともに、必要な知識習得の研修を行う。

・委嘱期間：平成23年6月1日～平成25年5月31日

・平成23年度派遣件数：50件 ・派遣延べ人数：120人

(3) 観光ガイドブックの製作・配付

7,067千円

秋田市観光ガイドブック「遊来楽(ゆらら)」の製作・配付により秋田市の観光施設や特産品、飲食店を紹介し観光客の利便性の向上に努める。

日本語冊子版 40,000部

日本語ダイジェスト版 50,000部

英語版(リーフレット) 2,000部

韓国語版(リーフレット) 2,000部

簡体字版(リーフレット) 1,000部

繁体字版(リーフレット) 2,000部

(4) 各種イベント、着地型メニューの企画・開発

8,099千円

既存のイベントとして千秋公園桜・つつじまつりを開催するほか、本年度は、DCに向けた取り組みとして、平成21年度からの3年間、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用して収集したデータ等を様々な着地型メニューに活用し、DC終了後も秋田観光の定番となるようなメニューの開発を目指す。

●千秋公園桜・つつじまつり

期間：桜まつり・・・4月20日(金)から5月1日(火)

つつじまつり・・・5月中旬から下旬

内容：主催事業・・・ライトアップの強化、二の丸ステージでのイベント、露店の調整（出店、電気工事）、ホームページでの開花状況のお知らせなど

受託事業・・・ぼんぼりや桜のライトアップ等照明・放送設備工事、会場内の清掃、つつじのライトアップ等

●着地型メニューの一例 きりたんぼ作り体験、八橋油田ツアー、案内人乗車タクシー、補陀寺座禅体験、森の炭焼き体験や、男鹿市観光協会等と連携したイベントの検討など

2 観光客おもてなし事業

13,580千円

(1) 秋田市観光案内所の運営

10,023千円

JR秋田駅構内にある秋田市観光案内所において、全地域の観光情報を提供するほか、レンタサイクルの無料貸し出しを行う。また、3月18日から始まった「東北観光博」の秋田・男鹿ゾーン「旅のサロン」と位置づけ、観光パスポートの発行や、地域観光案内人としての観光案内を行う。

- ・平成23年度レンタサイクルの利用状況：利用件数573件 利用台数666台
- ・平成23年度来所件数：24,471人（24年2月末現在）

(2) 秋田市観光案内人の活用

321千円

観光客が滞在時間を有効に活用でき、市内の観光名所や伝統行事の歴史的背景などについて、理解を深めながら楽しんでもらうため、秋田市観光案内人を派遣する。

- ・平成23年度派遣件数：36件 案内観光客数：1,188人
案内人派遣延べ人数：86人（登録人数：36人 派遣費用：1時間1,000円）

(3) 受入体制づくりの強化（新規事業）

3,236千円

DCによる観光客の増加が見込まれることから、東北観光博で連携している男鹿市観光協会や秋田県観光連盟等と連携し、お土産販売店や飲食業などを対象としたホスピタリティセミナーを開催するほか、「観光客満足度調査」を今年度も実施し、問題点を解決することで受入体制の強化を図る。

【収益目的事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営	279千円
-------------------------	--------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

- ・委託期間：平成24年4月2日（月）から8月31日（金）
団体予約開始：4月2日（月）10：00から
個人販売開始：5月1日（火）10：00から

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売	819千円
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

- ・製作本数：20,000本
- ・販売価格：1本100円

3 竿燈まつり事業の受託	6,790千円
---------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、下記の事業を行う。

- ・委託期間：平成24年5月1日（火）から8月31日（金）
- ・業務内容：警備員の配置、従事者弁当の手配、臨時職員の雇用

II 売店等運営事業

1 売店運営事業	12,055千円
-----------------	-----------------

①千秋公園売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬
- ・営業時間：9時から16時（悪天候時は閉店時刻変更）

②県立中央公園スポーツゾーン売店運営

- ・期間：4月中旬から11月中旬
- ・営業時間：9時から16時（悪天候時又はイベント開催内容により閉店時刻変更）

2 自動販売機設置事業	0千円
--------------------	------------

現在、千秋公園と県立中央公園及び一部の手詰め作業の自動販売機について、平成24年度中にフル・オペレーション契約にし作業の効率化を図る。

- ・設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、榎山コミュニティセンター、スポーツパークかわべ、岩見山内コミュニティーセンター、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉、B&B海洋センター、特別養護老人ホーム花の家、高尾山、雄和農林漁家高齢者センター

【その他事業】

I 組織推進事業

賛助会員に対するメリットの提供やサービスの充実を図り、賛助会員との交流会や新規加入会員の増加を図るとともに、公益財団法人の認可を受けるための申請手続きを行う。

1 賛助会員交流事業	580千円
-------------------	--------------

会員が一同に会する場を提供し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

- ・開催時期：平成24年11月
- ・会場：未定

2 各種団体との連携	289千円
-------------------	--------------

地域活性化に向けた市民・県民や各種団体との連携会議等に積極的に参画し、情報の収集と人的交流により、賛助会員に最新の情報提供や、当協会の事業内容の周知を図り協会の存在を周知する。